

魅力あるサークル活動

専修大学には体育会のほか、文化系サークルもたくさんある。今回は二つのサークルを紹介しよう。

関東学生法律討論会で優勝 3年連続で全国大会へ

—法学研究会—

関東学生法律討論会(主催=関東学生法学連盟、後援=東京高等裁判所・関東弁護士連合会等)が6月12日、日本大学で行われ、法学研究会の安平一樹くん(法3)が見事に優勝、日ごろの地道な活動が実を結んだ。

本学のほか慶應、早稲田、中央、明治、日本、立教、駒沢の8大学が加盟する同連盟では年に2度法律討論会を開き、関東一の座をかけて激しい討論が繰り広げられる。同連盟委員でもある安平くんは「1年次の時に、初めて見たこの討論会の迫力に圧倒されたことを覚えています。その大会で優勝出来、本当にうれしい」と語った。

昨年秋と今大会(分野・刑法)の総合得点により関東1位として、12月に香川大学で開催される全日本学生法律討論会に3年連続出場する(3年連続は本学のみ)。この勢いで全国優勝を目指してほしいと、メンバー一同期待している。(法3・高梨裕子)

※秋の討論会(分野・憲法)に向けて一緒に勉強しませんか? 興味のある方は神田キャンパス1号館B2・ボックス43まで。

川崎市から奨励賞受賞

—ボランティア活動研究同好会「樹々(きぎ)の会」—

障害のあるお子さんたちとの交流活動を長年続けているボランティア活動研究同好会「樹々の会」が、7月1日、ミューザ川崎シンフォニーホールで行われた川崎市制80周年記念式典の席上で奨励賞を受賞し、代表の岡本堯(たかし)くん(経営3)が表彰を受けた。

副代表の牛久(うしく)敦くん(文3)に活動の様子を聞いてみた。「約60人の会員が5班に分かれて、毎週土曜日に公園で一緒に遊んでいます。電車の乗り方などを教えたり、さまざまな体験をしてもらうため月1回「遠出」という行事があり、「油壺マリパーク」や神田の「交通博物館」などへ行きます。夏休みには子どもたちが楽しみにしている「お泊り会」があり、「八ヶ岳少年自然の家」や「横浜あゆみ荘」で1泊2日を過ごします。小1から高3まで年齢層も幅広く、様子もさまざまですので、それぞれの個性にあった対応を心がけますが、それは理論ではなく、活動するうちに自然に覚えていくという感じですね。

「黒門祭」では毎年、さまざまなゲームで楽しんでもらっています。今年は本学の留学生や神奈川大学の学生が呼びかけに応じて見学に来てくれました。ボランティアって何をしたらいいのかわからないという方は一度、参加してみてください。子どもたちのかかわりの中で得るものが大きいですよ。私は視野が広がり、子どもたちが大好きになったことが収穫です。

【ニュース専修2004年8月号6-7面】